

会 議 録

会議の名称	(仮称) 小金井市新福祉会館建設基本計画市民検討委員会 (第7回)
事務局	福祉保健部地域福祉課
開催日時	平成30年1月30日(月) 午後6時00分～午後7時00分
開催場所	小金井市役所第二庁舎8階801会議室
出席者	出席委員11人 委員長 根上 彰生委員 副委員長 金子 和夫委員 委員 佐藤 宮子委員 上原 和委員 諏訪間千晃委員 荒井 康善委員 大西 義雄委員 酒井 利高委員 水津 由紀委員 深澤 義信委員 永並 和子委員 欠席 山本美津子委員 事務局職員 福祉保健部長 佐久間育子 福祉会館等担当課長 前島賢 地域福祉課地域福祉係主査 山口晋平 庁内検討委員会職員 大澤子ども家庭部長 西村公民館長 関地域福祉課長 鈴木コミュニティ文化課長 藤井自立生活支援課長 高橋介護福祉課長 石原健康課長 鈴木高齢福祉担当課長 梶野子育て支援課長 秋葉子ども家庭支援センター等担当課長 若藤建築営繕課長
傍聴の可否	○可 ・ 一部不可 ・ 不可
傍聴者数	8人
会議次第	1 開会 2 報告・連絡事項等 (1) 事務局 (2) 委員・その他 3 議事 (1) (仮称) 小金井市新福祉会館建設基本計画(案)の市長への提出について (2) その他 4 その他
主な発言要旨	別紙のとおり
提出資料	(仮称) 小金井市新福祉会館建設基本計画(案)

1. 開 会

○事務局 それでは、おそろいになりましたので、始めさせていただきたいと思います。

本日は、お忙しい中をお集まりいただきまして、まことにありがとうございます。

開会に先立ちまして、お手元に配付しました資料等のご確認をお願いいたします。

本日は、資料が1種類だけでございます。カラー刷りの（仮称）小金井市新福祉会館建設基本計画（案）でございます。

不足等はございませんか。

また、資料ではございませんけれども、お手元にA4判三つ折り封筒の中に源泉徴収票が入ってございますので、お手数ですが、源泉徴収票に記載の氏名、住所、生年月日等をご確認いただきまして、万一、誤りがあるようでしたら、ご一報いただきたいと思います。

連絡事項としまして、山本委員からは本日ご欠席との事前連絡をいただいておりますので、お知らせいたします。

それでは、ただいまより、第7回（仮称）小金井市新福祉会館建設基本計画市民検討委員会を開会いたします。

それでは、委員長、よろしくお願いいたします。

○根上委員長 皆さん、こんばんは。

委員会の開催も今回で7回目となります。これまで、任期の延長による開催回数の増加や時間延長など、委員の皆様方には多大なご協力とご苦勞をおかけしましたが、本日が最終回となりました。

前回の委員会においていただいたご意見を反映した資料として、この基本計画（案）を事前にお送りさせていただいて、内容の変更、追加等についてはご確認いただけているものと思います。

本日は、市長がいらっしゃっています。市民検討委員会の案として、（仮称）小金井市新福祉会館建設基本計画（案）を市長へ提出する予定となっております。

2. 報告・連絡事項等

（1）事務局

○根上委員長 それでは、早速ですが、次第に沿って進めていきたいと思います。

次第の2、報告・連絡事項等の（1）事務局からお願いいたします。

○事務局 委員の皆様には、事前に前回第6回の会議録を送らせていただきました。修正がございました場合は、別途、会議録修正表にしてご提出いただく旨のお知らせをしております。

本日は、この場で締め切らせていただきまして、修正箇所を反映したものは、後日、皆さんに再送付をさせていただきます。その修正をもってご承認いただいたことといたしまして、市のホームページ等で掲載をしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局（前島福祉会館等担当課長） 福祉会館等担当課長でございます。

来る2月6日10時から市議会全員協議会が開催されますので、お知らせいたします。

これからご提出いただく予定の市民検討委員会の皆様でまとめていただきました計画（案）を市議会にお示ししながら、行政として市民検討委員会やこれまで市議会からいただきましたご意見を踏まえ、考え方を市議会にお示しする予定でございます。

今後の市としての（仮称）新福祉会館建設基本計画策定に向けた市議会と行政との間のご意見をいただく場、また、協議の場となろうかと思っておりますので、皆様にもお知らせいたします。

以上でございます。

○根上委員長 報告が終わったようです。

皆様方からご質問等がありますか。

(「なし」と発言する者あり)

(2) 委員・その他

○根上委員長 それでは、報告・連絡事項等の(2)に委員・その他とあります。皆様方のほうから何かご報告、ご連絡はありますでしょうか。

(「なし」と発言する者あり)

○根上委員長 特にないようでしたら、3の議事に移りたいと思います。

3. 議 事

(1) (仮称)小金井市新福社会館建設基本計画(案)の市長への提出について

○根上委員長 議事の(1)(仮称)小金井市新福社会館建設基本計画(案)の市長への提出についてでございます。

市から示された素案の検討に当たっては、市民検討委員会では、任期延長、委員会の回数の増加、協議時間の延長など、限られた時間の中で可能な限りの検討を行ってまいりました。この案は、ひとえに皆様方委員の熱意のたまものと存じます。

基本計画については、市民検討委員会における検討以外にも市議会からも意見が出されております。これについては、現在、市の中で検討中と伺っております。委員会で交わされた多様な意見については、この案の最後に各委員から寄せられた意見としてまとめて入れさせていただきました。また、私から、委員長の後書きということで、この意見を今後の具体の計画の策定や検討について参考にしていただきたいということを述べさせていただきました。今後、基本計画の最終的な決定、基本設計、実施設計と推移すると思いますが、その際の参考にしていただけると、ありがたく存じます。

それでは、(仮称)小金井市新福社会館建設基本計画検討委員会が策定した(仮称)小金井市新福社会館建設基本計画(案)について、委員会を代表して私から市長へ提出したいと存じます。

それでは、よろしく願いいたします。

[基本計画(案)の手交]

○西岡市長 まことにありがとうございました。御礼申し上げます。

○根上委員長 よろしく願いいたします。いいものにしていただければと思います。

それでは、市長から、一言、ご挨拶をいただければと存じます。

○西岡市長 皆様、こんばんは。小金井市長の西岡真一郎でございます。

(仮称)新福社会館建設基本計画市民検討委員会の最終回に、大変お寒い中、また、お忙しい中をご出席いただきまして、まことにありがとうございました。

昨年、平成29年7月7日に、将来を見据え、地域共生社会の実現をコンセプトとした施設の素案をお示しし、ご検討、ご協議をお願いして以来、昨年8月の施設見学会も含めまして8回にわたり、非常にご熱心にご議論いただきましたことに改めて御礼と感謝を申し上げます。皆様、ありがとうございました。

改めて、小金井市民の皆様方の市民力の高さを実感いたしました。また、検討委員会の皆様におかれましては、それぞれの専門分野、これまでのご経験、さまざまな取り組み事例、こういったものを大いに発揮していただきまして、ご熱心にご議論いただきましたことに改めて御礼と感謝を申し上げます。

根上委員長を初め、委員の皆様方には、短い期間の中で貴重なお時間とご苦勞をおかけしたことを思っております。ご提出いただきました(仮称)小金井市新福社会館建設基本計画(案)を真摯に受けとめさせていただき、今後、私どもは、(仮称)小金井市新福社会館建設基本計画の策定を

進めてまいります。

地域の課題を十分に反映し、地域共生社会の実現を目指す小金井市の市民の皆様方に長く親しまれる施設となりますよう、そして、先ほども根上委員長からいい施設をつくってくださいというお話をいただきました。市民の方々にとってよい施設となりますよう、平成33年度の竣工を目指し、これからも努力してまいります所存でございます。

今後とも、本市の市政運営に対しまして格別のご理解、ご協力をいただきますようお願い申し上げまして、御礼の挨拶とさせていただきます。

皆様、まことにありがとうございました。

○根上委員長 西岡市長、どうもありがとうございました。

今回策定した計画（案）をもとに、市としての計画策定や計画の具現化に当たっては、地域課題等を十分に反映し、地域共生社会の実現を目指す小金井市民の皆様方に親しまれる施設となることを願っております。

それでは、市長はこの後も公務の予定があると伺っております。ここで退席されるとのことでございます。

○西岡市長 失礼いたします。ありがとうございました。

〔西岡市長は退席〕

（２）その他

○根上委員長 それでは、先に進めさせていただきます。

議事の（２）その他でございます。

何かございますでしょうか。

まず、事務局からその他で何かご用意していることはないでしょうか。

○事務局 ございません。

○根上委員長 委員の皆様方からはどうでしょうか。

もし特にご用意いただいているものがないようでしたら、私から一つ提案ですが、それぞれの委員の方にこの委員会を終えてということで、ご感想でも今後に向けてのご意見でも結構ですが、一言ずついただきたいと思うのですけれども、よろしいでしょうか。

（「異議なし」と発言する者あり）

○根上委員長 それでは、申しわけないのですが、酒井委員から順番によろしくお願いいたします。

○酒井委員 皆さん、お疲れさまでございました。

去年の7月から、あの暑いときから寒いときまで、予定の回数を超えてやったということです。

私自身は、こういう検討委員会に参加するというのは初めてで、ただ、もともとは行政の人間でございましたので、事務方としてこういうものを少しお手伝いしたり、担当したりしたことはあるのですが、自治体によって随分違うのだなと率直に感じたところです。

特に、この基本計画の取り扱い方もそうですが、執行部としての市と議会の関係においても、これを市民検討委員会が検討される過程の途中で議会もほぼ同時並行的に検討される仕組みがあるということについて、私自身は驚きでした。

これは、各自治体の歴史や市民との合意事項によってまちまちだと思いますけれども、小金井の場合は、その意味では、まとめるのは大変かもしれないけれども、それぞれの立場から広範なご意見が出て、それを質的に高めていけば、よりよいものができると思っています。

私自身は、新庁舎がどういう機能を持って、または、どういうコンセプトを持ったつくりになるのかがよく見えていない部分がありまして、その関係で、福祉会館の特に相談支援のあり方の問題や、市民協働センターとの関係などいろいろと発言はしましたけれども、私自身の中でもなかなか

しっくりこない部分があったかなと思っています。

それで、この意見の中にも実は出しているのですけれども、特に言いたいのは、相談のあり方の問題で、議論をした回数は結構あるのですが、議論が深化できたかということ、そうでもなかったのかなという気はします。特に、新福祉会館に総合相談を、総合という名前がどこまでふさわしいのか、わかりませんが、総合相談と名づけた窓口を設けることの積極的な意味については、私自身はなかなか見出せなかったというのが率直なところです。

それで、これは私自身も意見で書いていますけれども、やはり、行政的な権限とか実効性をあわせ持った部署が、それは公務員としての権限を持った部署がやっぱりしっかりと責任を持ってやるべきであって、それが本体であると。当然、サテライト的な機能は必要ですけれども、その線はくずしてはいけないのかなというふうですね。だから、あたかも新福祉会館というところに総合相談の窓口ができて、利便性が一挙に高まりますよという図式ではいけないのではないかなというふうに私自身は思っています。

ただ、庁舎を合築するなり、複合的に隣接して建てるということであるから、その部屋がやっぱり両方の連携といいますか、そういった機能性の問題には最大限考慮していただきながらやると。

それで、私自身の経験からも、困っている市民が相談のレベルで例えば行政なりと電話とか何かで話をして、そこでちょっとネガティブな気分になったり、自分の思いがうまく伝わっていないということがありますと、そのことをもって関係が遮断されてしまうということがままあるのです。やっぱり、相談する側には非常にせっぱ詰まった状況があって、それも上手に表現できないとか、それを受ける側が定型的な対応をしたりすると、コミュニケーションがうまくいかなくて、そのことをもって、問題を抱えて困っている市民の方が発信も含めて自分を閉ざしてしまうということもままあるので、そんなことがないような仕組みといいますか、機能を市の中において考えていただきたいなとつくづく思います。

新庁舎と福祉会館の両方ができるというのは逆にチャンスであり、ゼロ段階からどういうデザインにするかを考えられるわけですから、ぜひ検討していただきたいと思っております。

長くなりましたけれども、ありがとうございました。

○根上委員長 どうもありがとうございました。

それでは、大西委員、お願いします。

○大西委員 大西です。

私は、第2回目から参加させていただいて、1回お休みをいただきましたけれども、正直に言って、皆目わかりませんね。

わからないというのはおかしな言い方ですが、私は、健康増進協議会の代表者として、また、医師役の代表者です。今までは、介護保険、あるいは、在宅、さらには、市民の健康を維持する、健康寿命を延ばすためにはどういった施策が必要だろうか、そういうようなことを検討する委員会に所属しておりました。

そこで、福祉会館ということですが、福祉会館とは何をやる場所だろうか、本当のことを言うと、ちょっと戸惑ったのです。福祉ですから、障がい者の方たちの集まりの場所なのだろうか、あるいは、これからは老人がふえてきますが、そうした老人の方々の憩いの場になるのだろうかということを思っていたのです。でも、公民館機能を持たせなければいけないというようなことでしたし、学習機能を持たせることなど、いろいろと入ってきてまして、福祉と関係あるのかなと思ったり、ごちゃごちゃになりまして、余り意見を申し上げることもできませんでした。

パブリックコメントの結果も、ここに来る前、4時ぐらいからさっと読んでいたのですが、私には知識がないものから、17ページぐらいまで読んできたところで疲れてしまいました。多岐にわたって検討してきたのだなと思って、感謝すると同時に、僕自身も非常に勉強になったし、

ただただ圧倒されるばかりでした。

ただ、福祉会館というのは、ざっくりと言いますと、子どもも老人も、市長は、長く親しみやすい会館に育てたいという抱負を言っておられたのですが、やっぱり、気軽に来て福祉に対する相談ができるようになれば、それが一番いいのだらうと思っております。

パブリックコメントの結果を見て、みんなが非常に心配されているというか、意見が多かったと思うのは、公民館機能を持っていないということです。回答は、極論を言いますと、マルチスペースがあるからそれでいいのだという回答になっているわけですね。

老人の方たちも、前はお部屋があったのでしょ。恐らく、悠々クラブかなんか。どのぐらいの広さかはわかりませんがね。したがって、余り広いところに老人がぼつんとひとりで行って何をやるのだらう、そういう不安がどうもあるようにこの文面から私は感じるのです。

したがって、希望は、恐らく、部屋を持ちたい、狭くてもいいから壁に囲まれた部屋を持ちたい、そういう意向ではないのかなと私は思いましたね。広いスペースなんか何も必要ない、かえって広いところに行ってしまうと、何か不安でしょうがない、そういう感情的なものがご老人の中には多いのではないのかなと思うのです。

確かに、私たちの学生時代は、今の時代と違いますから、押し入れの中で勉強しました。押し入れというのは狭いので、非常に集中力がつくのです。あれを3畳以上のところに放っぼり投げられて勉強しろと言われても、何だかだだっ広くて集中力がつかない。そういうように、実際問題、現実問題として、そういうお部屋がほしいというのが本当ではないのかなと。安心ですしね。猫なんか狭いところが好きなのです。安全なのです。ですから、そういう観点なのではないのかなと、老人の方たちが盛んに要求されていますけれども、そういうような感じを持ちましたね。マルチスペースがあるからそこでやればいいというのは、ちょっと乱暴なのかなという感じがしていて、果たしてそれでいいのかなと思ったり、どっちがいいのかわかりませんが、そういうことを感じて非常に勉強になった会議でした。

○根上委員長 ありがとうございます。

では、水津委員、お願いします。

○水津委員 水津です。

私は、子ども・子育て会議の代表として来ておまして、ずっと思っていたのですけれども、子ども家庭支援センターなりファミリーサポートセンターを福祉会館に持つてくるということは、利便性だけの問題だけではなくて、福祉会館の中にあることで、プランの中にある異世代交流やみんながつながるといことが実現できるためにも必要だということをもう少しきちんと話をするべきだったかなと思っております。

パブリックコメントの中にも支援センターを持つてくる必要性が感じられないというようなご意見もありましたし、その辺のところはもっと皆さんと議論をするべきところだったのかなと思う部分もあるのですが、何をどこで発言していいかということが会議の中ではなかなか難しく、今、何を議論するべきかということが非常に難しい中での進行になってしまっていて、委員長も非常にご苦労があったかと思っておりますけれども、私たちも参加しながら、どうすればこの短い時間が使えるのかということが難しかったなということと、この提案されたものが今後どうなるのかとか、検討委員会の先のことがどういうふうになるのかということも今後は注視していきたいと個人的には思っております。

どうもありがとうございます。

○根上委員長 どうもありがとうございます。

それでは、深澤委員、お願いします。

○深澤委員 お疲れさまでした。

なるべく早くいい施設ができればというふうに思っております。ありがとうございました。

○根上委員長 どうもありがとうございました。

永並委員、お願いいたします。

○永並委員 こういう施設が私にとっては余りにも間口が広過ぎるといいますか、全市民が対象みたいな感じになっていて、施設の軸みたいなのが私には全然見えなかったのです。

やっぱり、私は、基本的に考え方がちょっと古いのかもしれないですけども、マルチとか多目的とか共用スペースというのは余り信用してなくて、やはり、それぞれの対象の方にふさわしい、あるべきスペースがあるのではないかと、また、そういうふさわしい施策があるのではないかとというふうに今も考えています。そういった意味では、この施設自体、間口を非常に広げたことによって、どっちつかずな形になるのではないかと、そういう危惧があるのです。

後ろのほうにあるそれぞれの貴重なご意見をぱらぱら見ていて、ご意見もたくさん出ていましたので、そういうことも踏まえて、また、議会の関係やその他の市民団体の方などいろいろなご意見も踏まえて、よりわかりやすく、内容がもっとすっきりした施設をつくっていただきたいと思いません。

以上です。

○根上委員長 ありがとうございます。

それでは、諏訪間委員、お願いいたします。

○諏訪間委員 限られた時間の中でしたが、その中で参考になる施設なども皆様と見学することができて、有意義な意見交換ができたと思っております。

やはり、こういった公共施設をつくる際にはさまざまな角度からの視点を考慮する必要があり、そのためには、議会や行政だけでなく、こういった市民検討委員会であったり、秋に行われたワークショップのような市民参加の場が重要であるなど感じました。

ワークショップは私も参加したのですが、実際にいろいろな条件を想定して考えていくと、建て方について一定の方向性が妥当であるということがすごくよく理解できましたし、もっと広い範囲の市民の方にもこういったことを体験していただければと思いました。

もしできれば、こういう委員会にもワークショップみたいな方法が取り入れられる時間が持てればよかったなと個人的には思っています。巻末の意見にも書いたのですが、今後の運営計画や実施設計についてもぜひこういう機会を設けていただきますように、事務局と市長にはお願いしたいと思います。

それから、大西さんもおっしゃっていたと思うのですが、福祉会館のことというのはすごく複雑でわかりにくい、という市民の方が私が話しを聞いている中でもたくさんいらっしたのです。平成33年度に竣工する施設をより多くの市民の方が心待ちにするような施設にしてほしいので、そのためにも、より多くの市民の方を巻き込んで今後計画を立てていただきたいと思いません。

最後になりましたけれども、期間中は、私は事務局の方のお手を煩わせることが結構多かったと思うのですが、大変真摯にご対応いただきまして、この場をお借りしてお礼申し上げたいと思います。ありがとうございました。

○根上委員長 どうもありがとうございました。

それでは、上原委員、お願いします。

○上原委員 短い間でしたけれども、ありがとうございました。

地元小金井で新福祉会館の計画が始まっている、役所も計画が始まっているということで、何かしらお手伝いできないかなという思いから公募で参加させていただいて、このような形で協力させていただくことができて、とてもよかったと思っております。

毎回出てくる大建設の資料がすばらしくて、非常に勉強になる会でもありました。一市民とし

ても、建築に携わる人間としても、すばらしい福祉会館ができることを非常に楽しみにしております。

以上です。

○根上委員長 どうもありがとうございました。

それでは、佐藤委員、お願いします。

○佐藤委員 福祉会館の建設基本計画ということだけに集中できないというか、庁舎と同じ敷地に建てるということで、庁舎の基本計画なり庁舎の進め方とどうしても絡まなければならないという状況の中で新福祉会館のことだけ議論するのはなかなか難しかったと思います。

限られた時間の中では本当によくまとめられたと自分でも思っているのですが、今後の基本設計と実施設計において、この基本計画できちっとその意図が伝わるのかどうかは若干不安があるところです。運営の仕方とかどういうふうに関連をとっていくかという仕組みについてはまだ書き切れなかった部分がありますので、ハードの部分とはまた別に、仕組みについては庁内でも今後もずっと続けて検討していただいて、施設をよりよく運営していくための仕組みづくりにもご尽力いただければと思います。先ほど話もしましたとおり、その段階では市民の意向を聞く機会を持っていたければありがたいと私としては考えております。

ありがとうございました。

○根上委員長 どうもありがとうございました。

それでは、荒井委員、お願いいたします。

○荒井委員 皆さん、本当にお疲れさまでした。

正直に言いまして、すごく難しい会議ではなかったかと思っております。

そもそも、去年の夏、1回目か2回目の会議のとき、または、小金井市公共施設等総合管理計画という別の計画をやってくださったとき、新しい建物の青写真がどうなっているのかを質問させていただいても、はっきりしたお答えがなかったため、同じ地域に建てる福祉会館、市庁舎との関連がなかなかつかめないう状況でした。

特に、総合福祉窓口はどちらのほうに入れるのかという議論がいろいろあったと思いますが、市庁舎の計画のほうにはっきりしていれば、そういうバランス、利便性を考えて、もうちょっと議論ができたのではないかと思います。

そもそも、総合管理計画、市庁舎、新福祉会館、公民館といろいろあって、なかなかわからなかったです。この会議も非常に難しく感じたというのが正直な気持ちです。

でも、この話し合いの中では、ほかの市への見学会がありました。そういう機会があったことで私はすごく勉強になりました。

私も一介のサラリーマンですので、いろいろと大変な面もありましたけれども、委員としてこの委員会に出させていただき、非常に勉強になりました。

これからは、でき上がった計画をもとに、運営の仕組み、運営の方法、バリアフリーの設備等、障がい者の声も聞く機会をぜひつくっていただき、また、高齢者、女性の方を含め、市民の皆さんが気持ちよく使えるような福祉会館をぜひつくっていただけるよう期待しております。

皆様、本当にお疲れさまでした。ありがとうございます。

○根上委員長 どうもありがとうございました。

では、金子先生、どうぞ。

○金子委員 皆さん、本当にどうもご苦労さまでした。

ありがとうございました。まず最初に、皆さんに御礼を申し上げたいと思います。

そして、二つ目は、私の立ち位置ですけれども、委員長を補佐する役割だろうと思ってはいたのですけれども、結局、委員長が全てを受けとめてくれましたので、私が補佐することは何もござい

ませんでした。その点では、本当に何もしなかったような気がします。

ただ、ここに座るということは自分の意見を申す立場ではない、そういう考え方に徹しています。では、何をやるのかというと、とにかく皆さんのご意見を聞き、それを取りまとめる、それがここに座っている者の役割であり、決して自分を出すところではないというふうに私自身は思い続けて、さまざまところで同じ役割を果たしてきました。それは、ここでも一緒であります。

そして、今回、この福祉会館ということで、当初、平成27年でしたでしょうか、第1回で打ち切りになったその委員会で、私は、初めて、ああ、そうなのかと。市長選があるということさえも知らなかった私としては、ああ、そうなんだ、これで終わるんだと、はっきり言って驚きでした。物すごい驚きでしたね。別にショックとかそういうことではなくて、単純に驚きでした。

そういうものなのだなというふうに思ってきた中で、今回は、本当に皆さんの熱心なご議論の中で、とにかく市民検討という目線は本当に素晴らしいものだと感じました。確かに、ハード面は大切なことです。新しいものをつくるというのは大切なことです。そして、新しいものができる、大体、誰もがそこに行きたいと思うのです。ただ、行ったときに中身がどうなのか、それは人材も含めてです。そこがしっかりしていれば、また人はずっとついてくると思います。ずっと活用される施設になると思います。ですから、ハード面だけではなく、やはり、ソフト面が重要になってくると思うのです。

このソフト面という場合には、やはり、地域の人たちの力というもの、確かに行政職員の資質の向上も大切なことですけれども、地域の人たちが自分たちの力で一定の方向を出してくる、それに対して物を申して、行政に物を申して一定の方向を組み立てていくと。

私は、本当に小金井にその市民力の高さというものを感じました。すごいなど、純粹に、単純にそう思いました。

ぜひとも、皆さんの活動というものが、これからも、決して名前だけではなく、地域共生社会の構成員として、それを維持する者として、皆さんがその力をさらに発揮してもらえれば、そして、その皆さんの仲間がよりたくさんできれば、もっと内容を充実したさまざまな施設、そして、最終的には内容を充実した、そして、終の棲家としたい小金井市というものが生まれてくる、また、皆さんがつくっていくというふうに思っています。

今回そうした力を借りたことに対して皆さんに敬意を表して、私の感想とさせていただきます。

皆さん、本当にご苦労さまでした。

○根上委員長 どうもありがとうございました。

それでは、最後に私から一言です。

委員の皆様方には、本当にご苦労をおかけしました。改めて、深く御礼申し上げます。

この委員会が始まる時には、これほど多くのご苦労をおかけするとは私も考えておりませんでした。今、金子先生からもお話がありましたけれども、平成27年のときの1回だけの委員に委員長として出させていただいた関係で、今回もというお話をいただきました。ただ、前回のときとは状況が大分変わっておりますので、私で本当に務まるのかなという話をしたのですが、ぜひということで、引き受けさせていただきました。

私は建築が専門ですが、むしろ、今回の議論は建築に至る前のところの議論が中心で、余り役に立たなかったのかなと思っておりますが、委員の皆様方が本当に熱心にご議論いただきまして、何とか取りまとめることができ本当にほっとしております。

地域共生社会の実現を目指す新たな施設として、将来を見据えたあり方を検討する一方で、既に旧福祉会館がなくなって、その機能を求める市民の声もあり、大変難しい、また、前提条件も十分に整理されていないというような状況の中で、本当に限られた時間の中で取りまとめるという大変困難を伴う議論、審議であったと考えております。

本当にご苦勞をおかけしましたが、何とか取りまとめることができたことで、私は、少し肩の荷をおろすわけですが、これからは、多分、市民の委員の皆様方には、この施設の具体の計画の検討やその後の運営まで見守っていただけるかなと思っております。できたときが完成ではなくて、むしろ、そこからいかに育てていくか、そして、金子先生の話にもありましたように、これはハードを検討する委員会ですけれども、ソフトが重要で、いかに運営していくのかというようところが重要なことになってきますので、ぜひ、今後ともこの施設の建設から運営に至るさまざまな段階で、ここにかかわった委員の皆様方からも積極的にご意見を出していただいて、いい施設にすることになります。ご尽力いただければありがたいと思います。

また、事務局の方々には、大変ご苦勞をおかけしたかと思えます。本当にありがとうございました。委員の皆様方の思いはこの委員会の中で十分に受けとめていただいたと思えますので、この思いをぜひ大切にしてください、今後の検討に生かしていただければと思います。

何とぞよろしくお願ひ申し上げます。

それでは、皆様方から率直なご感想をいただきました。

多分、議事録にも載るだろうと思えますので、これも含めて今後の検討の参考にしていただければと存じます。

その他のところで、ほかに何か委員の方からございますか。

(「なし」と発言する者あり)

○根上委員長 特にないようでしたら、議事はこれにて終了させていただきます。

4. その他

○根上委員長 次に、次第4のその他であります。事務局から何かありますでしょうか。

○事務局 特にございません。

5. 閉 会

○根上委員長 それでは、これをもちまして、第7回(仮称)小金井市新福社会館建設基本計画市民検討委員会の全日程を終了いたします。

皆様、大変長い間、熱心なご議論をありがとうございました。

以 上